

# 新たな原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画（長計）<sup>注1)</sup>の策定について

## 1. 核燃料サイクル政策の変更に関する報道について

原子力委員会では、現在は新たな長計の策定作業に入るべく準備をしている段階であり、核燃料サイクル政策を抜本的に見直すなどの政策変更を決めた事実はありません。

原子力委員会は、11日に開催した定例会及び記者懇談会で、近藤委員長から、記者に対し正確な報道を求めました。（報道18社、記者23人参加）

## 2. 次期長計の策定について

### 準備作業（現在）

- 各界各層から幅広く提案、意見をお聴かせいただくため「長計についてご意見を聴く<sup>注2)</sup>」を開催するとともに、広く国民を対象に「意見募集<sup>注3)</sup>」、「第7回市民参加懇談会<sup>注4)</sup>」を開催しました。（会議は全て公開）

### 策定作業（今後）

- いただいた提案、意見を踏まえて、夏前には本格的な長計の策定作業に着手する予定です。策定作業は公開で行い、来年中に取りまとめる予定です。

注1) 原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画（長計）

長計は、安全の確保、平和利用の堅持等の原子力に係る基本的考え方、我が国の原子力研究開発利用の基本方針や推進方策などを示したものである。原子力委員会は、昭和31年(1956年)からこれまで概ね6年ごとに、合計9回長計を策定してきており、現行の長計は、平成12年11月に策定されたもの。

注2) 長計についてご意見を聴く会

平成16年1月28日から4月22日にかけて、14回、延べ26人の有識者から意見を聴取。

注3) 長計に関する「意見募集」

「広聴」の観点から、広く国民を対象に「意見募集」を実施(平成16年2月18日～3月12日まで公募)。475件の応募意見あり。

注4) 長計に関する「市民参加懇談会」

「意見募集」に応募していただいた方等から直接ご意見を伺う場として、「第7回市民参加懇談会」を開催(東京、平成16年3月27日)。110名の参加者の内、20名から意見聴取。